



「今」に合う指導法必要

つぼうち みこと
壺内 美思さん(勝山高2年)



なぜこのようなトラブルを招いてしまったのか。原因の一つに、日本大学のスパルタ式練習、つまり、監督への「絶対服従」が関わっていると私は思う。最近、日本では「パワハラ」などのニュースをよく耳にする。そのニュースを聞くと、私の親は「昔はこれくらい普通にあった」と口にする。たしかに「昔」はあったかもしれないが、今は「今」であって昔ではない。時代は常

に変化し、その流れにあらがうことは許されない。だからこそ、今の時代に合わせた「新しい練習方法」を模索すべきだ。

二つ目は、内田前監督が必死に何かを隠そう、自分を守ろうとしているように見受けられることだと思う。「すべて自分の責任」などときれい事ばかりを並べ、実際にラフプレーを犯した選手の意見に聞く耳を持っていない。それも絶対服従をとってきた結果だと思う。

古い考え方ややり方に縛られるのではなく、常に新しい今を更新していかなければ、このような問題は後を絶たないだろう。